



2018年3月8日

浜松市議会議員 渥美 誠 様

バス・タクシー券見直しについての要望書

浜松の福祉を考える会

代表 村松良子

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より、当会へのご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、先日障害者へのバス・タクシー券見直しについて説明を受けました。障害福祉サービス関係予算がこの11年で2倍になっていること、この間サービスが充実してきていることについては評価しているところです。しかし、今回のバス・タクシー券の見直しについては、納得できないところがあります。それは、級・区分によって対応が分かれるところです。軽度だからといって、必ずしも一般就労や社会参加が保障されているわけではありません。これまで軽度の人へのバス・タクシー券交付によって、彼らの社会参加を応援する意義がありました。なくなってしまうことで、社会参加の目をつむことに繋がります。

そこで、提案です。バス・タクシー券についても重度心身障害者医療費助成と同様に所得額によって受給できるかどうか判断したらいかがでしょうか。本来の「公平」はそれぞれの状況に応じて待遇を変え、同じように社会参加にアクセスできるようにすることです。バス・タクシー券についても公平な仕組みにさせていただけたらと思います。

また、今回の見直しによって削減する予算がどこに使われているかをぜひ私たちにわかるように示していただきたいです。

ぜひ、ご検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. バス・タクシー券の見直しは、級・区分ではなく、本人の所得額によってにすること。
2. バス・タクシー券の見直しによって削減された予算がどこに使われるのかを明確にすること。

以上

Equality doesn't mean Justice



Equality



Justice